

ドラゴン 悠久の時を生きる
彼らは五百歳ほどで
ようやく成竜といえる
年齢になる

生態系の頂点に君臨する
彼らは成長とともに
他の種族を圧倒する
魔力を自然と手にする

これが人の体か
戯れにこの姿で

下等な人間どもの
営みを見てみる
のも悪くないな

あるところに
人に変化する力を
手に入れたばかりの
若い竜がいた

しかし…弱いくせに
数だけは立派だな
まあ大きい虫けらと
いったところか

ちよつと
僕…？

チッ

1p
1p

汚らわしい…

ドラゴン

エサツ
ガツ
ワ

人にぶつかったら
謝るってママから
教わらなかったの
かなあ？

ほう
下等な人間風情が
随分な態度だな

我が元の姿なら
踏みつぶされて
いたぞ

あらあら
変わった話し方
何かの真似っこ？

これはキツい
お仕置が
必要みたいねえ

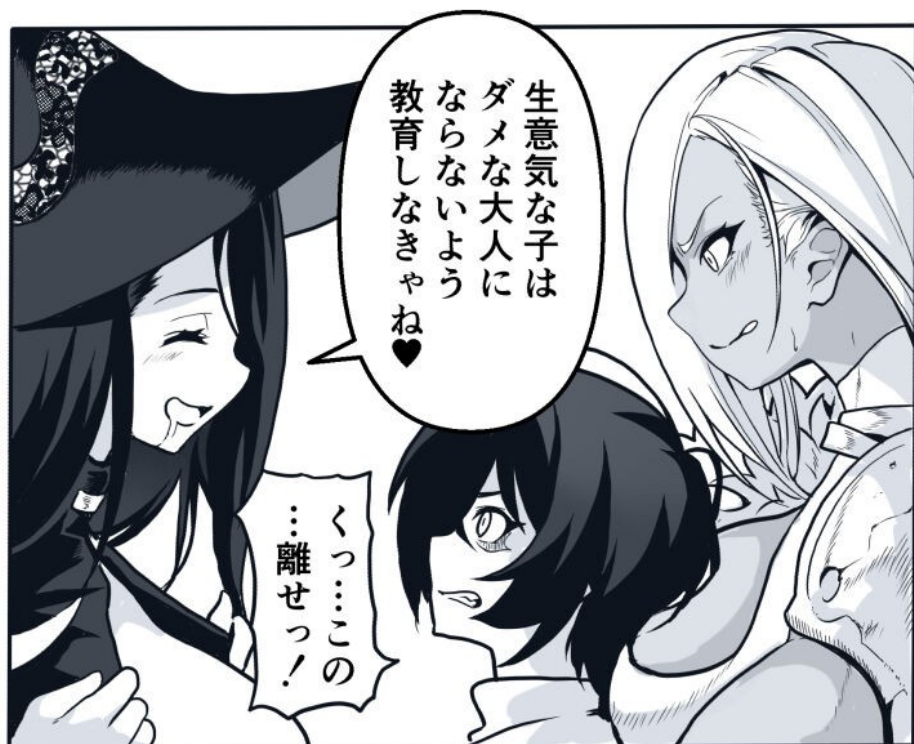
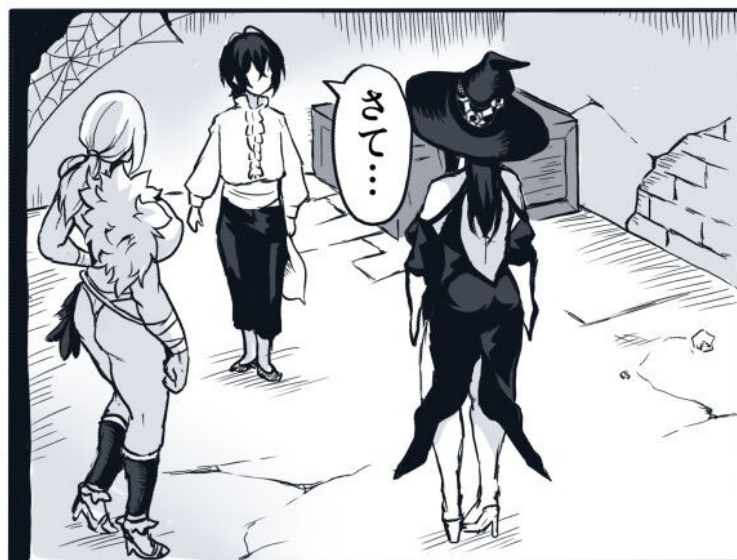
この若い竜は
まだ知らなかった

「シヨタはお姉さんに勝てない」
という神ですら覆せない
概念が存在することを

ねえ僕う？
お姉さんたちと
向こうで
お話しましょうか

いいだろう
こちらとしても
好都合だ

そして
その概念を
身をもって知る
ことになることを





何故だ！
さつきから
こいつらの命令
に逆らえない！

「シヨタは
お姉さんに
(以下略

あ♥吸ってる
吸ってるっ♥

イヤ〜ん♥
かわいい〜♥

ちゅ♥
ちゅ♥

ラストスパートお！
このまま私がいくまで
止まんねえかなあ!?

やめ…射精で
もう射精てる
…からあ！

ゴッポッ
ビュ

私がイクまでやめねえ
つつったろ！
このまま金玉の中身
空っぽにしてやんよ!!

ふい〜気持ちえ〜♥
思った以上に
良かったから
お小遣いあげるわ〜

コーン
キャハハ♪
銅貨一枚って！

キャラン

人…間…
おぼえて…
…ろ…